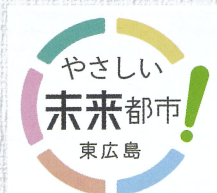


高垣ひろのり 市政通信



vol.8

～やさしい未来都市、東広島～

《略歴》

大阪大学工学部卒、中央大学法学部卒
広島県土木局長
(株)サタケ エンジニアリング本部部長
広島県副知事 東広島市長（2期目）
土木学会フェロー、技術士、測量士



東広島市市制施行50周年

本市は、1974年(昭和49年)4月20日に賀茂郡西条町・八本松町・志和町・高屋町の4町が合併し、広島県内で12番目の市として誕生。

2005年(平成17年)2月には、黒瀬町、福富町、豊栄町、河内町及び安芸津町の5町との合併を経て、内陸の山々から瀬戸内海にまで市域が広がり、豊かな風土と多くの地域資源が加わりました。



市制施行50周年記念式典で式辞
(2024年4月20日東広島芸術文化ホール)

この間、半世紀の星霜を重ね、幾多の艱難辛苦に直面しながらもこれを克服し、全国からも成長都市としてみなされるまでになりました。

多くの関係者のご尽力の賜物に心から敬意と感謝の意を表する次第です。



式典第2部音楽劇「未来ポスト」でオペラ
キッズの皆さんと「東広島市歌」を歌う

東広島市制施行50周年特設
サイトへはこちら→



東広島市発展の軌跡

2大プロジェクトの推進



「賀茂学園都市」建設

- ＊広島大学移転
- ＊近畿大学工学部移転
- ＊東広島ニュータウン建設

「広島中央テクノポリス」建設

- ＊公的産業団地建設 (19団地 328ha)
- ＊研究機関立地



市内人口の増加

1974年（昭和49年）
東広島市の誕生（市制施行）



西条町、八本松町、高屋町、
志和町の4町の合併により誕生



2024年（令和6年）
市制施行50周年

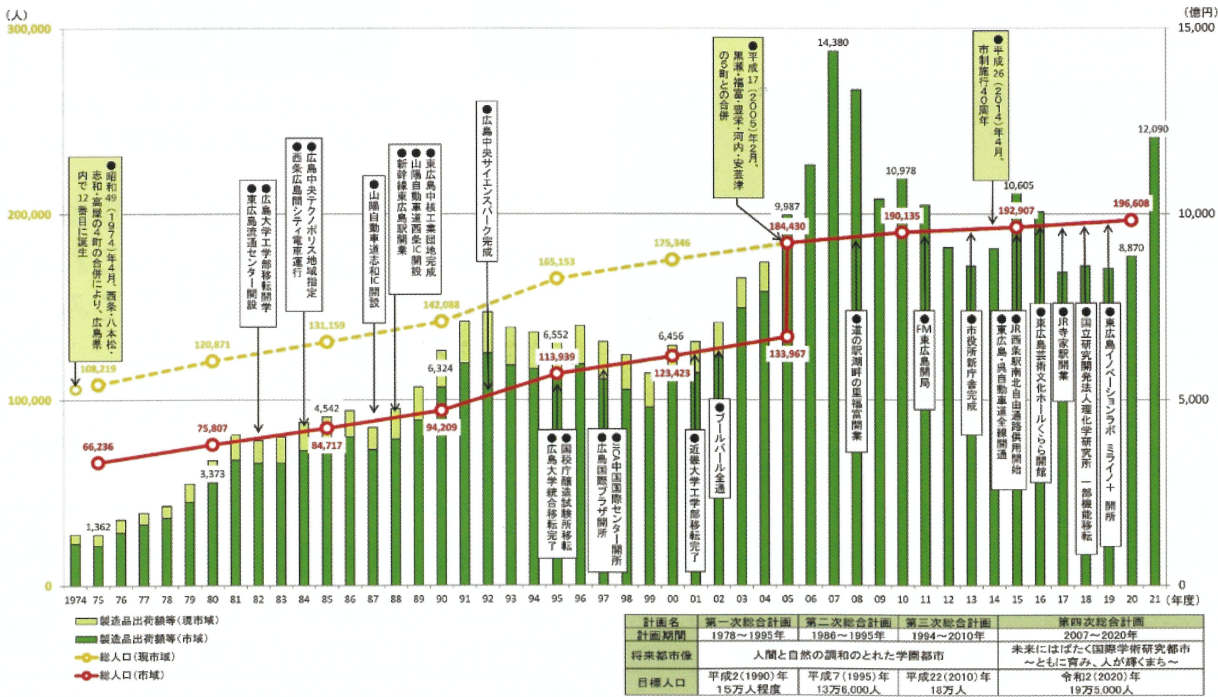


市制施行以来、長い歴史と伝統、恵まれた自然環境と学術研究機能の集積を背景に「人間と自然の調和のとれた学園都市」をまちづくりの目標に掲げ、「賀茂学園都市建設」と「広島中央テクノポリス建設」の2大プロジェクトを要に据え、社会生活基盤や産業基盤整備を推進してまいりました。

さらに近年は、芸術文化ホールくららや美術館など、本市を象徴する文化施設の整備が進むとともに、寺家駅の開設や東広島・安芸バイパスの開通により交通網の充実が図られるなど、都市としての骨格や都市施設が着実に整ってまいりました。

このような発展を背景に、産学官が一体となったまちづくりを進めてまいりました結果、市制施行時に6万4千人であった本市の人口は、3倍を超える19万7千人にまで増加するなど、全国からも注目を集める成長都市として、目覚しい躍進を遂げてまいりました。

■まちづくりの進展に伴い、東広島市は大きく成長



2050年を見据えた次世代学園都市に向けて

市制施行50周年という歴史的な節目は、同時に50年後の未来に向けた次世代学園都市として、本市が、新たな発展段階へと歩を進める、元年でもあります。

今後、Town & Gown構想や、民間企業の皆様との連携の活発化により、さらなる成長に向けたイノベーションの創造と、豊かな地域資源を活かした新たな生活価値の創造を推し進めてまいります。

この様な取組みを通じて、SDGsの達成と、市民一人ひとりのWell-beingが向上する「やさしい未来都市東広島」を実現するとともに、本市が、我が国における、学園都市のモデルへと成長するため、前途確かな道筋を切り拓いてまいりたいと考えています。

Town & Gown構想

「東広島市次世代学園都市構想」の策定

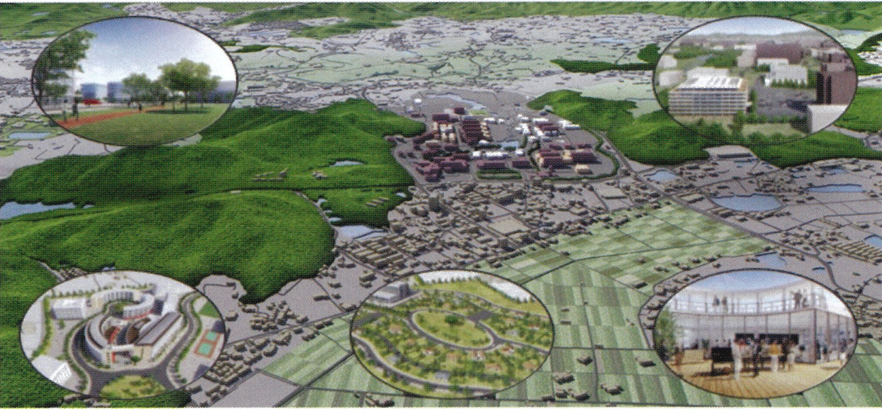
■検討してきたまちづくりの構想を「東広島市次世代学園都市構想」として取りまとめ

【3つの取組】

- イノベーションが起きる仕組みづくり
～快適性や利便性を含めた新たな価値の創出～
- グローバルスタンダードな生活環境づくり
～国際色豊かな魅力ある都市拠点の形成～
- 人づくり（学びと実践）
～地域全体のグローバルな頭脳循環への参加～

【期待する将来】

- 世界から起業家や研究者が集まるまち
- 新技術の社会実装と経済の好循環の実現
- ゆとりと魅力ある居住空間の実現
- 「適散・適集社会」の新たな都市モデルの構築



Town & Gown構想とは

「アカデミックエンタープライズが駆動する サステナブル・ユニヴァーシティ・タウン構想」に取り組む中で着手した新たな構想

Town & Gown構想

- 地域（Town）と大学（Gown）双方の密接な連携により
地域課題を解決する取組み
- 地域の自治体と大学が 包括的、日常的、継続的、組織的な関係 を構築の上
自治体の行政資源と大学の教育・研究資源を融合しながら活用することで
地域課題の解決に資する科学技術イノベーションの社会実装と
人材育成のための共創の場を通じて地方創生を実現し、
持続的な地域の発展と大学の進化をともに目指す構想

※アリゾナ州立大学では、地元自治体と連携し、企業の誘致や研究費の獲得、生徒数の増を実現し、多大な経済効果を生み出すことに成功

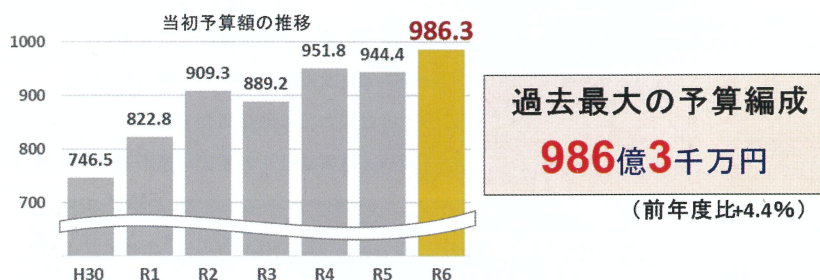
令和6年度予算概要

予算(案)の規模とポイント



2050年に向けて、次世代学園都市元年！

- ◎市制施行50周年を契機に、次世代学園都市構想の実現に着手
- ◎全世代にわたる市民負担軽減による暮らしやすさの向上
- ◎Well-beingの向上による地域共生社会を目指した総合的な施策展開



令和6年度の市の施策と予算のことをもっと知りたい方はQRコードからご覧ください。

令和6年度予算は、市制施行以来最大の予算規模となりました。本市を取り巻く社会経済環境を踏まえると、次世代学園都市実現に向けた積極的な投資、物価高騰下における家庭支出の軽減、誰もが幸福感の向上を実感できる地域共生社会に向け、人口減少地域への総合対策や子どもの健やかな成長のための環境づくりなどに重点を置き、まちづくりの5つの柱（仕事づくり、暮らしづくり、人づくり、活力づくり、安心づくり）の施策を積極的に推進していく予算編成としました。

編集後記

昨年十一月アメリカ出張に行かせていただきました。視察の目的はアリゾナ州立大学と大学の立地するテンピ市のTown&Gownの取組と、半導体製造の大型投資を決定したマイクテクノロジーの本社と本社の所在するボイシー市のまちづくりをつぶさに見てくることでした。併せて、全米で一番住んでみたいと言われ、都市計画を志す者にとって一度は見てみたいと言われるポーランド市の取組を調査することでした。

アメリカの中でも発展しつつあるこの3市は、国際企業の立地、実学に富んだ大学、豊かな自然環境などが共通し、また、まちづくりにも大学の大きな関与があることでした。

これらのことは次世代の東広島市の方向性を示唆するものであり、本市の大きなポテンシャルを感じて帰国しました。

市制施行50周年の節目の年は、同時に次世代学園都市づくりの元年にしなければと強く思っている次第です。令和6年度の予算にはその思いを反映したものとしました。市民の皆さんとともに、国内外から選ばれる「やさしい未来都市 東広島」の実現を図ってまいりたいと考えています。

高垣ひろのり後援会

所在地／〒739-0041 東広島市西条町寺家6343-3-704
TEL／080-8450-8293 FAX／082-426-5241

公式ホームページ
「高垣ひろのり」

<http://h-takagaki.jp>



高垣ひろのり後援会事務所 (毎週水曜日開所)

所在地／〒739-0043 東広島市西条西本町1332

